こんな「“一”つのこと」を提案します!

子育てに悩んだら…

“一”から考えよう!

「子どもの食事ってこれでいいの?」
「最近、急に大人びて戸惑う…」
そんな子育ての悩みを応援します!

県教育委員会では保護者同士が気軽に悩みや不安を話し合うことができる交流の場をもつために、「親育ち応援学習プログラム」を作成しました。このプログラムを使った研修会や学級懇談が学校、幼稚園、保育所等で行われています。ぜひ参加してみてください。

●どんなプログラムがあるの?
ホームページで見ることができます。

親育ち応援学習プログラム　検索

●詳しいことが知りたい! 活用してみたい!!
岡山県生涯学習課まで御相談ください。
お問い合わせ先:086-226-7597

●いつ・どこで実施されるのか知りたい。
お問い合わせ先
岡山教育事務所:086-221-7776
津山教育事務所:0868-24-8703

グループで自分の意見を伝えあう交流の様子

保護者の感想

●他の方の意見にも共感でき、イライラしたり大変なのは自分だけじゃないんだと気付き、少し安心しました。
●グループの皆さんに共感してもらい、多くの人と関わる楽しさを実感しました。
●他の人から参考になる話をたくさん聞けたので、自分でも実行することができればいいなあと思います。

本好きな子どもに!

スタートは、一冊の本の読み聞かせから。

乳幼児から自分で本が読めるようになるまで読み聞かせ。

自分で読めるようになっても、読んだ本についてみんなでお話し。

本を読んでコミュニケーション、家族の絆づくりを!

おもしろ読書事典

県内の小中学生から「読んで感動した本」「友達に紹介したい本」を推薦してもらって取りまとめた「おもしろ読書事典」。どんな本を読めばいいのか分からないときには、「おもしろ読書事典」を活用してお気に入りの1冊を見つけてね。

HPでダウンロードできるよ。　おかやま どんどん読書　検索

論語に学ぼう。

一を聞いて以て十を知る

上のことわざは、「物事の一部分を聞いただけで、その全体を理解するほど、聡明である。」ことのたとえとして使われるもので、「論語」に集録されている章句の一つです。「論語」には、学びへの意欲を高め、社会の中での自分の在り方を探るための知恵やヒントが数多く収められています。

県教育委員会では、心の教育や生き方教育の充実を図るため、「学校教育で活用できる論語章句集」を作成し、学校だけでなく、家庭や地域でも使える章句を集録しています。

学校教育に論語を活用する学校が増えています。

HPでダウンロードできるよ。　岡山県 論語章句集　検索

子どもが自己中心的な言動を繰り返したり、他人が嫌がることをやめなかったりしたとき、この章句を使ってみてはどうでしょうか。

其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。
【意味】(弟子が先生に尋ねた。「たった一つの言葉で、一生かけて行う価値のあるものはありますか。」)
それは、恕だね。自分がされたくないことは人にもしないことだよ。
【解説】人を思いやる心、それが「恕」である。相手の身になって思い、語り、行動することが大切だ。

親子でふれあおう。

一緒に過ごす家族の時間を大切にしてみる。

仕事もスマートに終わらせて、早く家に帰ろう。
家族共通の時間・体験・会話で、子どもの心に潤いを!

外出に気持ちのよい季節です。
4~5面の地図も参考に、親子で出かけてみませんか。

~親との関わりについて~

●母親と会話する時間(1週間のうちで)
10~19時間・・・20.1%
(母親の約半数は子どもたちと1日1~4時間程度の会話)
●父親と会話する時間(1週間のうちで)
4時間以下・・・31.8%

できることから始めてみましょう!

~保護者と子どもたちがよく一緒にすること~

●勉強を親がみている。(小学生7~8割、中学生5割程度)

●スポーツを一緒にする。(小学生2割弱、中学生1割強、高校生1割以下。この5年で増加)

●家族会議を開いて話し合う。(小学生2割強、中学生と高校生2割弱。この5年で大きく増加)

厚生労働省「全国家庭児童調査」(平成21年)
http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001yivt.html

※『こころのわ』は県のホームページからダウンロードできます。